

The Tile Pictures of Taniuchi Rokuro  
Seasons of Showa Enhancing the Newsletter "Inadayori"

# 谷内六郎 の タイル 絵

伊奈製陶のPR誌を飾った昭和の四季



《月の出》『伊奈だより』1963年10月 No.75、42.5×30.3cm ©Michiko Taniuchi / 所蔵・写真提供：横須賀美術館  
作品には、伊奈製陶の「FFタイル」「チャータイル」などが使われている。

 INAX ライブミュージアム

主催・企画：INAXライブミュージアム 協力：横須賀美術館  
フライヤー・会場グラフィック：河合秀尚

2024.9.7sat - 12.3tue



1. 《早春譜》『伊奈だより』1964年2月 No.79、43.9×32.8 cm

昭和のなつかしい風景や、心の片隅に残る幼い日の光景を描き、郷愁の画家といわれた谷内六郎。代表作である『週刊新潮』の表紙絵は、1956（昭和31）年の創刊号から26年にわたり、人々の目を楽ませてくれました。

すでに人気画家だった谷内は1963（昭和38）年から2年間、伊奈製陶<sup>\*</sup>が発行していた月刊PR誌『伊奈だより』の表紙絵を引き受けました。四季折々の風物詩を描いたタイル絵24作品が、主題への思いや関心事などを記した短いエッセイを添えて掲載されたのです。

季節感あふれる作品は、背景に見立てたタイルに、様々な色や形のタイル、さらに厚紙やベニヤ板、Pタイル（プラスチック薄板）などの異素材を重ね張りし、立体的に仕上げられています。

本展では、『伊奈だより』の表紙を飾ったタイル絵24点を、谷内六郎館を有する横須賀美術館のコレクションから10点の実物作品と写真などで紹介します。あわせて、作品に使われている伊奈製陶のタイルの見本台紙やカタログもご覧いただけます。

今年設立100周年を迎えた伊奈製陶。その歴史の一頁を飾る、谷内唯一の“タイル絵シリーズ”をお楽しみください。

※ 後のINAX、現LIXIL



2. 《ひなの季節》『伊奈だより』1965年3月 No.92 45.0×30.0 cm



3. 《七月の埠頭》『伊奈だより』1965年7月 No.96 45.5×30.5 cm



4. 作品に使われている、伊奈製陶のタイルの見本台紙 1960年代／撮影：河合秀尚



5. 1961年ごろの「FFタイル」のカタログ



6. 月刊PR誌『伊奈だより』

Taniuchi Rokuro was known as a painter of nostalgia. He painted sentimental scenes of the Showa era, or childhood vignettes that were lodged in his heart. He is well known for his works that were featured on the cover of the magazine “Shukan Shincho,” entertaining the public for 26 years beginning in 1956.

Already a popular painter, for two years beginning in 1963 Taniuchi was commissioned to create tiles depicting scenery of the seasons for the cover of “Inadayori,” the monthly publicity magazine of Ina Seito\*. A total of 24 of his tile pictures depicting seasonal tableaux appeared in the magazine along with short essays about the theme of the magazine or current events.

Taniuchi’s works are full of his sense of the seasons. Using the tile itself as the background, he used other tiles of various shapes and colors, along with different media such as thick paper, wood veneer, and thin sheets of plastic to create a layered three-dimensional effect.

This exhibition introduces Taniuchi’s tile pictures that adorned the cover of “Inadayori,” focusing on ten of his works from the collection of the Taniuchi Rokuro Pavilion at the Yokosuka Museum of Art. In addition, we present related materials such as samples and catalogs of tiles made by Ina Seito.

As part of commemorating the 100th anniversary of the founding of Ina Seito, we hope you will enjoy experiencing one page of our history - the series of tile pictures created by Taniuchi Rokuro.

\*Later INAX, present-day LIXIL

〔1～3〕 ©Michiko Taniuchi / 所蔵・写真提供：横須賀美術館  
作品には、伊奈製陶の「半磁器タイル」「カラコンモザイク」「セラミックテッセラ」「ホームタイル」などが使われている。

〔4～6〕 所蔵：INAXライブミュージアム

### 谷内六郎 (1921-1981)

1921年、東京・恵比寿に生まれる。小学校卒業後、新聞雑誌に漫画や挿絵を投稿し始める。1955年第1回文藝春秋漫画賞を受賞。翌年、雑誌『週刊新潮』の創刊と同時に表紙絵を描く。1963年8月号より65年7月号まで、伊奈製陶の月刊PR誌『伊奈だより』の表紙用に24点のタイル絵を制作。広島のみ市広中央中学校養護学級「たけのご学級」や静岡県内の「ねむの木学園」と交流し、福祉活動にも力を注いだ。1981年1月死去、享年59歳。

## The Tile Pictures of Taniuchi Rokuro

Seasons of Showa Enhancing the Newsletter “Inadayori”

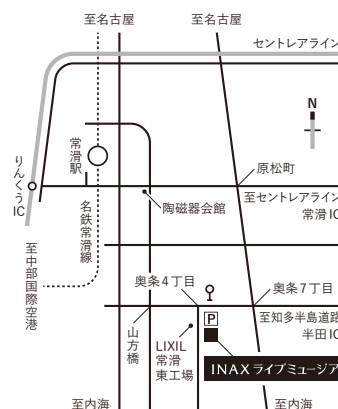
会 期 2024年9月7日(土)～12月3日(火)  
会 場 INAXライブミュージアム「窯のある広場・資料館」2階  
開館時間 10:00am～5:00pm(入館は4:30pmまで)  
休 館 日 水曜日  
共通入館料 一般：700円、高・大学生：500円  
小・中学生：250円(税込、各種割引あり)  
ア ク セ ス [バス]  
名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より、知多バス「知多半田駅」行き「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分  
[お車(乗用車・バス駐車場完備)]  
名鉄線「常滑駅」より約6分  
中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)  
セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分  
知多半島道路「半田IC」より約15分

INAXライブミュージアム  
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130  
TEL：0569-34-8282 FAX：0569-34-8283  
<https://livingculture.lixil.com/ilm/>



INAXライブミュージアムは  
LIXILが運営する文化施設です。

おかげさまで  
LIXIL水まわり・タイル100年



昭和の四季  
伊奈製陶のPR誌を飾った  
タイル絵  
谷内六郎の